

令和7年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
N9101A R9101A J9101A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	1	家庭	家庭基礎	2	通年	○
教科書			補助教材				
新 Agenda 家庭基礎（実教出版）			2026 最新生活学ハンドブック（第一学習社）				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらにかかわる技能ができる。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決できる。		さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践できる。		
学習の 評価	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。（知識・技能） 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。（思考・判断・表現） さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度）						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
生涯の生活設計 青年期の自立と家族・家庭 子どもの生活と保育 食生活と健康 衣生活と健康 住生活と住環境 生活における経済の計画 消費行動と意思決定 持続可能なライフスタイルと環境 高齢期の生活と福祉 共生社会と福祉 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動			<ul style="list-style-type: none"> ・より豊かなライフプランを考察できる ・自立に必要な課題や生活スキルを身につけるための行動ができ、男女が協力して家族を築く重要性について考察できる ・乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身につけ、子どもの生み育てることの意義を考え、親や社会の果たす役割の重要性について考察できる ・栄養素の働きを理解した献立作成ができ、調理の知識と基礎技術を習得し、食の安全性に配慮した食品の取扱いができる ・TPO や季節に応じた着装ができ、適切な衣服管理と被服の基礎技術の習得をした ・家族が安全で快適かつ健康な生活を営む場としての住居について基礎的・基本的な知識と機能を身につけた ・家計管理の重要性などを理解し、収入と支出のバランスの重要性やリスク管理について考察し、資産形成ができる ・消費者問題や契約の重要性を理解した消費行動がとれる ・安全で安心な生活と消費について考察できる ・高齢期の心身の特徴を理解し、支援について考察できる ・高齢社会の現状と課題を知り、自分の高齢期を考察できる ・共に支え合って生活することの重要性について考察できる ・家庭生活の課題に気づき、課題解決のための行動がとれる ・学校や地域の課題に対し、グループで課題解決ができる 				

令和8年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
NA201A RA201A JA201A	普通科 理数科学科 人文社会科学科	2	情報	情報 I	2	通年	○
教科書			補助教材				
改訂版 高校情報 情報 I（数研出版）			4 ステージ 情報 I（数研出版）				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	問題の発見・解決に必要な情報や情報技術を理解・活用し、日々進展する情報社会の特質及びそのような社会で生きる人間の関わりを理解している。		事象を情報の視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報や情報技術を適切かつ効果的に利用している。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報や情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。		
学習の 評価	<p>【知識・技能】 定期考査で、基本的な問を設定し、その結果から知識の習得と理解を評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考査で、初出の問を設定し、その結果から習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できるかを評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業で実施する理解度テスト、実習課題への取り組みなどから粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているかを総合的に評価する。</p>						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
教科書 改訂版 高校情報 情報 I（数研出版） アナログとデジタル デジタル情報の表現 論理回路 文字のデジタル表現 音のデジタル表現 画像のデジタル表現			<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルのそれぞれの特徴や違い、相互変換の方法を理解する。 ・2進数、10進数、16進数をそれぞれ相互に変換する方法を理解する。 ・2進数の簡単な加算と減算について理解する。 ・音やデジタル化（標本化、量子化、符号化）の仕組みについて理解する。 ・加法混色、減法混色、解像度、階調について理解する。 				
データの様々な形式と種類 データの収集と整理 データの分析1 データの分析2 アルゴリズム（フローチャート） プログラミング言語とは プログラミングの方法1 プログラミングの方法2			<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの関数を理解している。 ・ヒストグラムや箱ひげ図によるデータの分析方法について理解している。 ・表計算ソフトウェアを使って移動平均を計算し、グラフ表示ができる。 ・表計算ソフトウェアを使って線形近似により、グラフ表示ができる。 ・アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 ・簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる。 				
モデル化 シミュレーション 情報社会の問題解決 コミュニケーション手段の発展と特徴 情報デザイン			<ul style="list-style-type: none"> ・モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している。 ・簡単な確定的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・簡単な確率的モデルのモデル化やシミュレーションの手順を理解している。 ・メディア、問題解決手順、知的財産権、著作権について理解している。 				
コンピュータの構成 コンピュータでの数値の内部表現 データの圧縮 乱数を使うシミュレーション プログラミングの方法3 アルゴリズム（探索、整列） 巻末実習4 数値の並べ替え 巻末実習3 フィボナッチ数列			<ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアとソフトウェアの関係やハードウェアと応用ソフトウェアの仲介の役割をしているOSの機能を理解している。 ・圧縮の仕組みを理解し、圧縮率を計算することができる。 ・配列の役割や要素、添字について理解している。 ・関数の定義と呼び出す方法について理解している。 ・線形探索、二分探索のアルゴリズムを理解している。 ・交換法、選択法による整列のアルゴリズムを理解している。 ・情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。 ・データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解している。 ・データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。 ・Web ページの特徴や作成方法について理解している。 ・HTML タグやCSS セレクタの動きを理解できる。 				

令和8年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
NA301G RA301G JA301G	普通科 理数科学科 人文社会科学科	3	情報	発展情報	1	通年	
教科書			補助教材				
改訂版 高校情報 情報 I（数研出版）			2027 実戦攻略「情報 I」大学入学共通テスト問題集（実教出版）				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	問題の発見・解決に必要な情報や情報技術を理解・活用し、日々進展する情報社会の特質及びそのような社会で生きる人間の関わりを理解している。		事象を情報の視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報や情報技術を適切かつ効果的に利用している。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報や情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。		
学習の 評価	<p>【知識・技能】 校内模試で、基本的な問を設定し、その結果から知識の習得と理解を評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】 校内模試で、初出の問を設定し、その結果から習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できるかを評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 授業で実施する理解度テスト、実習課題への取り組みなどから粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているかを総合的に評価する。</p>						
学習内容（単元・項目）				学習到達目標（評価規準）			
2025 実践攻略「情報 I」大学入学共通テスト問題集（実教出版） 1 9 デジタル化・情報量 2 0 2進数 2 7 論理回路・真理値表 2 8 組合せ回路 2 2 音のデジタル化 2 3 画像のデジタル化 3 4 待ち行列 3 5 フローチャート 3 8 プログラミングの基本 4 2 2次元配列 4 4 線形探索 4 5 二分探索 2 9 コンピュータの構成 3 0 仮想コンピュータでの動作 4 6 バブルソート 4 7 選択ソート 5 4 ネットワークとプロトコル 5 5 LANを構成する機器 5 6 インターネットとIPアドレス 5 7 ドメイン名とDNS 6 4 データ 6 5 情報通信機器と利用目的の関係 4 9 アルゴリズムと比較 5 0 サイコロの確率 5 9 サーバの利用 6 0 メールの送受信の仕組み 6 6 サンドルの売上分析 6 7 生活時間の分析 2 6 圧縮				<ul style="list-style-type: none"> アナログとデジタルそれぞれの特徴や違い、変換の方法を理解する。 2進数、10進数、16進数をそれぞれ相互変換して適切に表現できる。 論理回路の仕組みを理解し、組合せた回路の真理値表を作成できる。 アナログ波形に戻すために必要な標準化周波数について適切に思考できる。 画像のデジタル化（標準化、量子化、符号化）する際、目的に応じて適切に判断できる。 設計、記述、実行、試験のプログラムの作成の手順を説明することができる。 アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 配列の利用により、効率の良いプログラムを考え、作成することができる。 下限値、上限値、中央値、探索値の関係を正しく捉えて考察することができる。 CPUの動作と演算の仕組みについて理解し、適切に思考できる。 整列のアルゴリズムを理解している。 ネットワーク上に使われる様々なプロトコルを調べ、まとめることができる。 インターネットへの接続方法のメリット、デメリットをまとめることができる。 情報システムの分類や概要などを把握することができる。 サーバのIPアドレスや経路を調べて、具体的な接続情報を確認しながらつながる仕組みを考えることができる。 データを扱ったグラフを適切に読み取り、そこから考察できる内容を把握することができる。 圧縮の仕組みを理解し、圧縮率を計算することができる。 			

令和8年度 教育計画（シラバス）

講座コード	学科名	学年	教科	科目	単位数	履修期間	必修
RB201A	理数科学科	2	理数	理数探究	2	通年	○
教科書			補助教材				
理数探究基礎（数研出版）			なし				
到達 目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付ける。 課題の設定と、仮説とその検証という科学的思考を身につける。		多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を探究し解決する力を養うとともに、創造的な力を高める。		様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度を養う。 探究の過程を主体的に振り返り、評価・改善しようとする態度及び論理的な態度を養う。		
学習の 評価	<p>知識・技能：実験、実習、グループ討論、資料・情報収集状況、レポート及びポスターや研究集録のまとめ状況から評価する。</p> <p>思考・判断・表現：計画の作成、実験、グループ内討論及びポスターセッションでの討議などから評価する。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度：作文、調査・実習・実験の取り組み状況、グループ内討論やポスターセッションの参加状況などから評価する。</p>						
学習内容（単元・項目）			学習到達目標（評価規準）				
①課題設定・仮説・検証の計画立案			①自然や社会の様々な事象に対して、数学や理科などに関する課題を設定し、仮説を導き出す。 仮説の検証のために必要な実験・調査を考え、計画を立案する。				
②仮説の検証実験・調査の実施			②数学的な手法や科学的な手法などを用いて、仮説検証のための実験や調査を行い、結果の処理などを適切に行う。				
③結果の分析・考察・推論			③得られた結果に対して、先行研究や理論などを考慮しながら、考察し推論する。 得られた結果を分析し、グループ内で論理的・科学的に妥当であるか討論する。				
④ポスター発表と研究集録の作成			④ポスターセッションで、課題解決の過程と結果や成果などをまとめ発表したり、質疑に応答する。 ポスターセッションで、他のグループの発表を聞き、論理の矛盾がないかを確認したり、疑問点を質問したりする。 自分の研究内容をわかりやすく、適切な表現でまとめ発表する。				